

●支部社協の部屋●

今月は田ヶ谷支部を紹介します。

目指せ！小粒でもキラリと光る地域社協を

田ヶ谷支部の活動

田ヶ谷支部の事業として最も力を入れているものが二つあります。

一つ目の敬老会事業は、他にさきがけて実施している田ヶ谷支部のイベントと自負しています。毎年76歳以上の方を対象に、田ヶ谷総合センターを会場に行っております。

実施にあたっては、まず理事会を開催し期日、日程、内容等基本的な事項を検討し、後日全体役員会を開催し、理事会において検討した事項について報告し併せて対象者への案内状の配布及び当日の役割等を取り決めます。

ちなみに平成17年度については、9月19日(月)敬老の日午前10時開会、対象者285名、中出席者131名、来賓には石川三郎騎西町社協会長ほか6名、挨拶に続き当日最高齢者に花束贈呈を行いました。

その後は昼食を取りながら、4団体による演芸の披露が行われ、盛んな拍手や声援があり終始和やかな雰囲気の中閉会とまりました。

二つ目のおひな祭り昼食会は、実施にいたるプロセスは敬老会と同様ですが、対象者は80歳以上となっております。前日午後から会場設営を行い当日は各地区ごとに受付し、女性役員が会場を案内します。主催者及び来賓の挨拶など

のあと、幼稚園児たちの演技を観賞します。本年度については、それに追加して雰囲気盛り上げようと、カラオケの用意をしております。まず役員が美声？を披露してから出席者に参加してもらおう予定

です。初めての試みでどれだけ盛り上がるか、支部役員の手腕に期待がかかります。

ここで二つの事業を通じて考えられることは、どちらも対象者に対して出席者が40%台しかないということです。

高齢者ということで、寝たきりや身体が不自由で外に出られない方や、1人では会場にこられない方等様々な理由があるとされます。これらの在宅高齢者の方に、どのように対応していくべきなのかが、これからの課題となると思います。

今後益々進む少子高齢化社会にあつては、行政の届かない裏面を、地域の連携と協力によりお互いの絆を一層強く

して、地域の福祉向上に資することがこれからの課題であり、社協本来の姿ではないかと思えます。今後も田ヶ谷支部としては、住民のニーズに応えられるよう、役員と一緒に更なる努力を重ねて行きたいと考えています。



敬老の日

